

ふかうら

No.82

6 2025年
月定例会

令和7年8月29日発行

議会だより



あの灯が、
再び町にともる。



深浦町は、旧深浦町と旧岩崎村が合併し、平成17年3月31日に誕生。
令和7年3月31日で合併20周年を迎えました。

保育所主食費無償化など増額 (補正予算) ▶ 3

わが町のここが聞きたい! 一般質問 6人が質す ▶ 5

深浦町議会チャンネル

検索



ホームページ: <https://www.town.fukaura.lg.jp/categories/bunya/gikai/>

深浦町議会 第139回定例会



第139回定例会は、6月4日から11日までの8日間の会期で開催しました。
 一般質問では6人の議員が登壇し、町政運営の課題を質しました。
 また、本定例会では、町長からの補正予算や条例関係などの議案12件、報告等6件が提出され、審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。

6/4
(水)

・全議案一括上程
 ・提案理由の説明



6/5
(木)

6/8
(日)

・休会

議会録画配信
 インターネット配信サービス YouTube(ユーチューブ)で録画配信を開始しました。各ページのQRコードからアクセスできます。

YouTube「深浦町議会チャンネル」

6/9
(月)

・議員管内視察研修

6/10
(火)

・一般質問



七戸 仁 大川 清光 今 勝吉 大高 恒藏 八木 史 福沢 秀己

6/11
(水)

・議案審議、採決



保育所等 主食費

無償化へ 支援拡充

6月定例会は、6月4日から11日までの8日間の会期で開かれました。一般質問では、6人の議員が登壇し、観光振興や物価高騰対策など町政全般にわたり論戦が繰り広げられました。

議案第1号

一般会計補正予算

公用車カーナビNHK受信未契約分受信料 401万円負担

テレビ受信機能を有するカーナビを搭載した町公用車について、本来、NHKと放送受信料契約が必要であったにもかかわらず、それがなされていなかったことから、新規契約による当年度分に加え、カーナビ搭載時点に遡及して受信料を負担分を増額。

保育所等の主食費 無償化へ支援拡充 151万円補助

令和6年10月から開始している保育所等の副食費の無償化に加え、子どもたちの食育の推進と保護者の更なる負担軽減を図るため、本年7月から主食費を無償化するための経費を増額。

王池展望デッキ 整備費1100万円

十二湖の王池周辺に整備された展望デッキについて、訪れる観光客の安全性と利便性の向上を図るため、地方債を財源に第二期工事の実施に要する経費を増額。

旧深浦校舎運動場 補修整備費260万円

旧木造高校深浦校舎の利活用にあたり、地域のスポーツ文化の向上や地域交流の活性化を主目的に、運動場を無料で町民に開放するため、公施設等総合管理基金を財源に、その補修整備経費を増額。



▲旧深浦校舎運動場

わが町の ここが聞きたい

新たな公共施設集積の可能性は
福沢秀己議員



十二湖駅駐車場未舗装部分の改善は
七戸仁議員



小型タクシー休止地域の移動手段どう確保
八木史議員



高齢者の健康維持と介護予防は
大高恒藏議員



持続可能な水道事業への取組は
今勝吉議員



現地対応を見直し来場者への配慮を
大川清光議員



第139回定例会 一般質問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に行政財政の運営や現行の政策、将来に対する方針などについて考えを質し、報告や説明を求め、より良い方向へ導くものです。

編集の都合により、掲載は実際の質問順とは異なりますのでご了承願います。

第139号定例会 上程議案と採決状況一覧												
上程議案・概要・結果	結果	八木史	七戸仁	福沢秀己	大川清光	岩谷司	岩根環	今勝吉	大高恒藏	藤田一則	工藤博利	斉藤登
○は賛成、×は反対、欠は欠席、議長（斉藤登）は採決に加わらない。												
令和7年度 補正予算議案												
議案第1号 一般会計補正予算(1回目) ※歳出の主なものは、P3参照 歳入歳出18,199千円を追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
その他の議案												
議案第2号 深浦町職員定数条例の一部を改正する条例(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第3号 深浦町国民健康保険条例の一部を改正する条例(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第4号 深浦町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第5号 深浦町監査委員条例の一部を改正する条例(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第6号 工事の請負契約の件 森山線災害防除2期工事	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第7号 工事の請負契約の件 北金ヶ沢地区漁村整備道路改良2期工事	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第8号 財産の取得の件(消防ポンプ自動車) 1台 28,600,000円 契約業者 (有)丸栄消機	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第9号 財産の取得の件(町立小中学校学習者用コンピュータ) 17,075,520円 契約業者 (株)ビジネスサービス	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第10号 深浦町第三次総合計画基本構想の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第11号 深浦町過疎地域持続的発展計画変更の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第12号 深浦町監査委員の選任の件(識見選任)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告												
報告第1号 専決処分した事項の報告及びその承認を求めるの件 (深浦町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第2号 令和6年度深浦町一般会計繰越明許費繰越計算書報告の件	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第3号 令和6年度深浦町一般会計事故繰越繰越計算書報告の件	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第4号 令和6年度深浦町水道事業会計繰越計算書報告の件	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議												
発委第1号 深浦町議会会議規則の一部を改正する規則(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発委第2号 深浦町議会傍聴規則の一部を改正する規則(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

人事案件

監査委員に中川利男氏を選任



任期満了に伴い、監査委員に選任することに対して、議会の同意を求めたものです。
【全員賛成で同意】任期は令和7年6月12日から4年間です。

長い間おつかれさまでした



▲熊谷代表監査委員

6月11日で任期満了となる熊谷孝代表監査委員が退任されました。2期8年の長い期間、監査委員として町のために貢献していただきました。

選挙管理委員会委員長就任



▲吉田選管委員長

5月13日付で深浦町選挙管理委員会委員長に就任された吉田隆委員長が本議会で就任の挨拶をしました。(任期は4年)



▲十二湖海浜公園



問 大川議員
海と山の魅力を活かした観光拠点の強化は、地域経済の活性化につながるかと考えるが。

『地域経済の活性化に向け関係機関と協議しながら活用策を模索したい』

観光資源の活用
十二湖海浜公園の活用は

答 町長
同公園は約47億円をかけて整備された県営の海岸保全施設であり、観光拠点としての活用は地域経済の活性化につながる可能性がある。ただし、遊泳区域には漁業権の問題があり、安全面にも課題があるため、これまで積極的な利用促進は困難だった。今後は関係機関と協議を重ね、地域経済の拠点として有効に活用できるよう検討していく。

問 大川議員
中学校のあり方検討委員会について、以下の点を伺う。
①地域住民の声は反映されているか。議論内容や資料の公開、会議録の閲覧は可能か。
②保護者アンケートは反映されているか。通学時間や生活環境が大戸瀬地区への移住・定住の妨げにならないか。

委員会の公開と民意
中学校のあり方検討委員会
公開性と地域住民の
声の反映
『提言書をまとめ公表する予定。通学時間より教育環境の充実を考える』

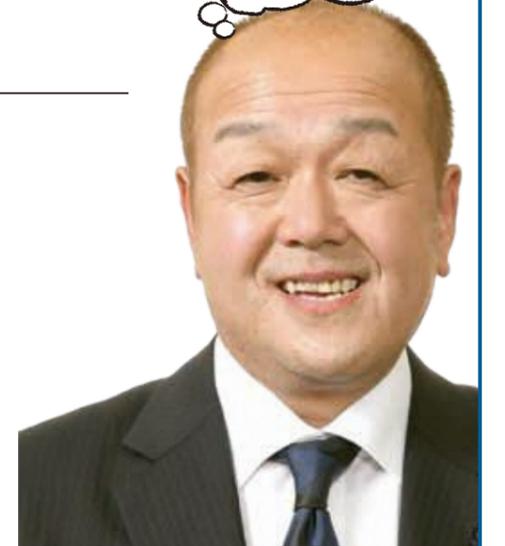
答 町長
町は、大口瀬中の複式学級化を見据え、昨年の保護者アンケートを踏まえて検討委員会を設置。統合や教育委託、現状維持の3案について協議を進めており、提言書は教育委員会へ提出、公表予定。検討中の資料や会議録は非公開だが、議事録は問い合わせに応じて対応する。
また、通学時間が移住定住の障害になるとの指摘に対しては、より良い教育環境と子どもたちの成長機会がそれぞれを上げようとする。

※1 会議録：会議の内容、経過を記録した文章。
※2 議事録：議事の内容・審議経過・議決事項などを記録したもの。

問

ビックイエローでの配慮
現地対応を見直し
来場者への配慮を

つぶやき
観光面の怠慢、
統廃合の
説明不足に憤慨



答

駐車場誘導に行き違いか
現場対応を見直しへ



おおかわ きよみつ
大川 清光 議員



▲ライトアップされた大イチョウ



▲損傷の著しい北金ヶ沢13号線

問 大川議員
ビックイエローは、全国的に有名な観光スポットとなったが、来場者への対応に課題がある。
①駐車スペースがあるのに係員に断られた事例があり、不満の声も。現場対応や駐車管理の見直しをすべきではないか。
②町道北金ヶ沢13号線は道幅が狭く危険で、歩道のごぼこも課題。安全対策や舗装改修の対応を伺う。
③観光客への「おもてなし」が不十分。通年の観光案内所設置を検討すべきではないか。

答 町長
①駐車場誘導については、開催時に外部業者へ交通誘導を委託し、第1、第2、臨時駐車場の順に誘導している。昨年11月13日の点灯式で議員から現地で直接指摘があり、職員が警備員に確認したが、該当の対応はなかったとの回答だった。行き違いの可能性もあるため、今後は現場対応を見直し、来場者に配慮した運営に努める。

②町道北金ヶ沢13号線については、勾配や周囲の住宅の関係で拡幅は困難なため法定速度を30km/hに設定し歩道を設置している。舗装の損傷が著しいため、応急対策を講じ、来年度以降に本格的な改修を検討する。
③観光案内所については、町内の2駅に常設の案内所を設け、通年で運営している。ビックイエローは3週間と短期間であり、他の時期の観光需要も高くないため、新たな案内所設置は考えていない。今後も現行の案内所やホームページ等で情報提供を行っていく。





問 今議員
風力発電事業のコスト高騰を受け、(仮称)深浦第二風力発電事業は計画通り進むのか。

『再評価進めつつ 計画継続』
深浦第二風力発電事業 計画通り進むのか



答 町長
風力発電の事業者によれば、資材費や金利の高騰などにより事業性の再評価を行いながら計画を進めており、現時点では2029年着工、2031年運転開始を目指している。今後の状況により変更の可能性もあるが、地域と対話を重ねながら、共生型の事業を目指す方針。



問 今議員
物価高騰で集会所の指定管理料が電気料等足りない状況にあるが、町の対応は。

『物価高騰に対応し 集会所管理費を支援へ』
物価高騰下の集会所運営 持に支障 町の対応は



答 町長
物価高騰により集会所の維持管理費が増加していることは認識しており、町では自治会の負担軽減のため指定管理料の増額や使用料負担の見直しを行っている。今後も各自自治会の意見や地域間の公平性を踏まえ、必要な対応を検討していく。

スマートフォンなどで手軽に一般質問などの録画映像がご覧になれます!

議会だより内に掲載しておりますQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問や町長の提案理由の説明、採決の様子の動画が視聴できます。ぜひ、ご視聴ください。
ただし、QRコードを読み取るためにはアプリが必要です。インストールされていない場合は、インストール後にご利用ください。
※QRコードとは、今やいたる所で見かけるようになった四角い白黒の点で構成されたマークで、読み取れば簡単にいろんな情報を知ることができます。

議会録画配信
YouTube (ユーチューブ) で録画配信を行っております。

YouTube 「深浦町議会チャンネル」

問 水道事業の持続性 持続可能な水道事業への取組は

答 広域化は見送り、町独自の水道効率化を推進



こん 今 かつよし 勝吉 議員

つぶやき
人口減でも 未来を 切り拓く



答 町長
県の広域水道化構想に基づき、西北地区で4項目を検討したが、現時点ではコスト面や地理的要因から広域化のメリットは見いだせず、今後も協議を継続する。町独自では給水区域の統合による管理効率化を進め、施設の最適化やIoTの活用、職員の技術力向上にも取り組んでいる。
※IoT(Internet of Things)モノをインターネットに接続し、相互に情報交換を可能にする技術のこと

問 今議員
持続可能な水道事業のため、地域に合ったコスト削減や効率的な運営について、どのように取り組んでいるか。



深浦漁港

問 今議員
本町管理の漁港を多目的に活用し、カヌー等の乗り入れを促進することで、自然体験の機会を広げ、深浦の魅力向上と交流人口の増加につながることを考えるが。

『漁港の多目的活用を模索、海業による地域活性化を支援』
漁港の多目的利用 交流人口の拡大を



答 町長
町が管理する12の漁港は漁業従事者や漁獲量の減少が続いており、町も海業の視点から活用策を検討中。カヌーやカヤックの乗り入れは地域活性化に一定の効果が見込まれるが、漁業への影響や安全面を慎重に検討する必要がある。漁協や漁業者が主体となって海業に取り組み場合、行政として支援したいと考えている。



住宅耐震化と県助成
住宅耐震化率と県
助成の実施状況は
『住宅耐震化率35・2%
令和8年度から県の診断・
改修支援開始へ』



問 大高議員
①住宅の耐震化率と今後の取組、県の耐震改修助成の実施状況、資材高騰を踏まえた上限上げの可能性は。
②老朽空き家の災害リスクに対し、町の把握状況と対応方針は。
③空き家への助言や補助、危険家屋への対応など、町が講じている具体策は。

答 町長
住宅の耐震化率は平成22年度で35・2%。令和元々3年度は診断支援のみで、改修支援はなし。令和8年度からは県事業で診断と改修の支援を実施予定。診断は13・6万円、改修は上限104万円。令和7年度には耐震改修促進計画の改定を行う。

空き家対策では、平成27年に条例を制定。危険な空き家を「特定空き家等」に指定し、助言・指導・勧告等を実施。解体費の支援制度あり。これまでに50件を認定、24件解体済、26件が現存。代執行には課題があるため、状況に応じて自治会や消防団と連携し対応。所有者への働きかけも継続している。

議会を傍聴しませんか

定例会は、誰でも傍聴することができます。町政に関する予算や条例の提案、議員の質問・質疑、採決などが行われます。次回は、9月上旬に定例会を開く予定ですので、皆さんの傍聴をお待ちしております。



介護予防対策 高齢者の健康維持と 介護予防は

つぶやき
おの
老の問題や町の施策
を十分に検討し解決
を目指してほしい。

問

答 食と運動で
高齢者の健康維持を支援



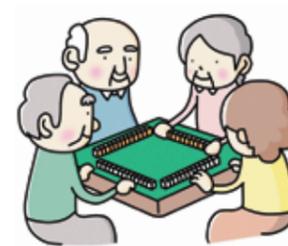
おおたか
大高
つねぞう
恒藏 議員



問 大高議員
①加齢により食欲や栄養摂取量が減少しがちな高齢者が、適切な食事を日常的にとれるような支援体制や体重・筋肉量の維持に向けた取組について、町長の考えは。
②年に一定回数以上活動する軽スポーツやマージャン等の交流団体に、年1万円程度の助成を行うことは可能か。
③認知症の予防・早期発見やひきこもり・孤独死などの課題に対し、町が現在取り組んでいる、または今後計画している施策は。



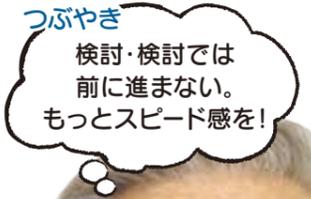
答 町長
①食欲や栄養摂取量の減少に対し、当町では配食サービスや保健師・運動トレーナーによる指導、リハビリ型デイサービスでの運動・栄養教室などを実施。今後も食事と運動の両面から支援を強化する。
②軽スポーツや交流活動には、「げんきサロン」推進事業に「対応しており、現在1地区で実施中。立ち上げ時4万円、運営費用3千円、会場費用4千円を上限に補助。趣旨に合う活動には支援が可能。
③認知症施策として、認知症カフェや脳の健康教室、事業者による見守り、GPS端末導入支援などを実施中。国の方針に沿い、予防から共生への転換を図りながら、既存事業の周知と活用を進める。



身寄りない高齢者支援
への支援体制は
『生活お助け隊派遣事業
など既存の仕組みで支
援』

問 大高議員
身寄りのない高齢者の増加が課題となる中、町における支援サービスの現状を伺う。また、医療・介護・死後の事務までを包括的に支援する「終活支援制度」の創設について、町長の考えは。

答 町長
当町では特化した制度はないが、生活お助け隊派遣事業など既存の仕組みで支援を行っている。買い物や安否確認などを町社協と連携して実施中。
終活支援制度については国で検討中。町としても「若い世代」の啓発を進めており、今後も国の動向を踏まえつつ対応していく。



小型タクシー休止 小型タクシー休止6か月 地域の移動手段どう確保

問

答 代替確保へ運行拡大を協議中



やぎ 八木 議員



問 八木議員
地元の小型タクシー事業者が営業休止から6か月以上経過したが、事業者との相談や話し合いはあったのか。また、今後の移動手段確保に向けて代替交通や地域交通のあり方についてどのような対応・支援を検討しているのか。

答 町長
①条件設定や採択基準を含め町では、深浦地区の小型タクシー事業者が3月に廃業したと認識しているが、事業者からの相談や話し合いはなかった。代替手段として、岩崎地区のタクシー事業者と協議を行ったが、現在の運行許可は岩崎地区に限定されており、深浦地区での運行は困難とのことだった。ただし、事業者には深浦地区への運行拡大の意向があり、運輸局の許可取得に向けて確認を進めている。今後は、運転手や車両の確保も含め、公共交通協議会と連携しながら対応を検討していく。

浜町商店街再生へ 軽食・休憩所付き 人工温泉を提案

『施設整備は町全体の視点で議論必要』



▲浜町商店街

問 八木議員
活気を失った浜町商店街の再生について町長の考えを伺いたい。また、小規模な軽食や休憩所を備えた人工ラジウム温泉施設の整備を提案したい。

答 町長
浜町の街並みは北前船寄港地の風情を残す貴重な景観であり、活気の低下は非常に残念。私自身もその思いから、就任前にリハビリ特化型デイサービスを開設し、人の流れづくりに取り組んできた。令和6年度の空き店舗率は38%で、令和3年度から変わっていない。現在の支援策として創業支援事業補助金があるが施設整備や商店街再編のような大規模な取り組みについては、町全体の施設配置を俯瞰的に見て議論する必要があると考える。



※俯瞰的…物事を高い位置から見下ろすように、全体を広い視野で捉えること

物価高騰で 町民生活逼迫、 支援策を問う

『水道料減免は見送り商品券で対応』

問 八木議員
物価高騰が続く中、町民生活の厳しさが増している。町長は就任時、「町民第一」の姿勢を示していたが、水道基本料の減免や町民一人5千円の商品券支給といった支援策を講じる考えはあるか。

答 町長
物価高騰の長期化は国民生活に大きな影響を与える重要課題であり、国は各種支援策を実施してきた。当町でも国・県の交付金を活用し、支援事業を実施してきた。水道料基本料の減免は、一時検討したが不公平感や事務負担の課題から見送り、商品券支給に効果を持たせた。今後も国の動向を踏まえ、対応を検討する。

「種時きの年」に注目 産業ごとの取組と プロジェクト体制を 問う

『種時き』の具体化進む 給食費無償化や施設活用 見直しも検討中』

問 八木議員
今年「種時きの年」との考えのもと、町長が示す各産業への具体的な取組例は何か。また、どのようなプロジェクトチームを立ち上げたのか。

答 町長
就任から約5か月、公約と令和7年度予算との関連を見極めつつ、一歩ずつ施策を進めている。「種時き」とは、職員との対話を通じた意識共有や信頼構築であり、支援制度の周知や「書かない窓口」導入の意識改革、庁舎のバリアフリー化検討などが成果として現れている。保育園給食費無償化や多世代交流促進工リアの構想、ウエスパ椿山の活用再検討も進行中。プロジ

エクトチームは現時点で未設置だが、機構改革や各施設の利活用を視野に今後立ち上げを検討する。



物価高騰 学生に町産米支援提案 を提案 町産米10キロ贈呈を 町長に問う

『大学生への米支援は意義深く、国の動向見極め対応』



問 八木議員
物価高騰が大学生生活に深刻な影響を与える中、前回提案した大学生等への特産品支援に加え、緊急策として町産米10キロを贈る事業の実施は可能か。

答 町長
物価高騰が大学生の生活に深刻な影響を与えていることは認識している。町産米を大学生等に10キロ贈る案は意義深い。現在国が米価対策を進めており、備蓄米の放出による価格安定を目指しているため、町としては国の動向を注視しながら対応を検討する。



つばやき

様々な面からよく調べ実行し、町民を笑顔に



問

公共施設集積と旧深浦校舎グラウンドの活用
新たな公共施設集積の可能性は
旧深浦校舎グラウンドの活用方針は

答

本庁舎移転候補地に、旧校舎グラウンドは
一般開放予定、街灯は必要に応じて対応

ふくさわ 福沢 ひとみ 秀己 議員



質問者の動画が視聴できます。

つばやき

今回は旧岩崎中活用と防災の戸別受信機を問う



問

利用環境の改善
十二湖駅駐車場、
未舗装部分の改善は

答

十二湖駅駐車場は私有地
管理対応は当事者間で協議を

しちのへ 七戸 ひとし 仁 議員



質問者の動画が視聴できます。

問 町長
旧深浦校舎グラウンドの活用方針は、
①新たな公共施設集積の可能性は。
②旧深浦校舎グラウンドの活用方針は。
③グラウンドの公園・広場としての利活用は。
④戸建住宅増加に伴う街灯整備の考え方は。

答 町長
旧深浦校舎グラウンドの活用方針は、
①新たな公共施設集積の可能性は。
②旧深浦校舎グラウンドの活用方針は。
③グラウンドの公園・広場としての利活用は。
④戸建住宅増加に伴う街灯整備の考え方は。



問 町長
行合崎は、ニッコウキスゲの群落や海岸自然草原など、貴重な自然資源を有する町指定の名勝地。旧キャンプ場施設は老朽化のため利用を終了したが、今後は景観や植生を活かした観光振興の可能性を探りつつ、自然保全にも配慮し、環境教育や自然散策の場として活用を検討していく。

答 町長
行合崎は、ニッコウキスゲの群落や海岸自然草原など、貴重な自然資源を有する町指定の名勝地。旧キャンプ場施設は老朽化のため利用を終了したが、今後は景観や植生を活かした観光振興の可能性を探りつつ、自然保全にも配慮し、環境教育や自然散策の場として活用を検討していく。

行合崎の観光振興
多彩な自然資源の活用方針は
『行合崎の魅力活用へ
景観や植生を活かした
観光振興策を検討』



問 町長
椿山温泉の利活用については、現時点では3月定例会での答弁のとおりだが、エリア全体の再構築に向けては、提案も柔軟に取り入れつつ、ビジョンを明確にした上で検討を進めていく。

答 町長
椿山温泉の利活用については、現時点では3月定例会での答弁のとおりだが、エリア全体の再構築に向けては、提案も柔軟に取り入れつつ、ビジョンを明確にした上で検討を進めていく。

椿山温泉を核とした
エリア再構築の可能性は
『ビジョンを明確にした
上で検討進める方針』



▲未舗装の駐車場

問 七戸議員
十二湖駅駐車場の未舗装部分は雨天時に水たまりができてやすく、利用環境の改善が必要と考えるが。

答 町長
該当の駐車場は、深浦町観光協会が松神生産森林組合と土地賃貸借契約を結び、平成28年4月1日から有償で使用している私有地である。土地の管理は所有者の判断に委ねられるものであり、不便がある場合は当事者同士で協議し対応すべきと考える。



▲損壊したケビン

問 七戸議員
十二湖リフレッシュ村のケビン7棟は損壊が進み、景観にも影響を与えている。利活用の予定がないのであれば、解体撤去すべきと考えるが。

答 町長
ケビン7棟は長らく使用されておらず、今後の利用見込みもないことから、解体する方針。

ケビンの利活用
十二湖
リフレッシュ村の
ケビンの利活用は
『使用実績なし
解体する方針』

問 七戸議員
十二湖海浜公園と森山海岸はパドリングスポーツの適地として紹介されており、体験者の広がりも期待される。自然を活かしたレジャーの場として、観光パンフレット等で情報発信すべきと考えるが、町長の見解を伺う。

答 町長
アウトドア誌への掲載は、県がモンベル社と連携し白神山周辺の振興を図る中で紹介されたもの。森山海岸はパドリングスポーツの適地として選ばれ、今後も関係機関と協議しながらPRと活用を進める。なお、十二湖海浜公園は漁業権や安全面の課題があり、引き続き関係者と協議しながら対応していく。

森山海岸
自然を活かした
レジャー発信を
『関係機関と連携し
PRと活用進める』

表紙写真
紹介

音と灯りが町を包む
深浦ねぶた復活

かつて子供会が主体となって運行していた「深浦ねぶた」は、コロナ禍や子どもの減少の影響を受け、2019年を最後にその姿を消していました。

しかし今年、町村合併20周年という節目を記念した事業として、「深浦ねぶた」が見事に復活しました。

8月13日から15日までの3日間、色鮮やかなねぶたが夜の町を練り歩き、太鼓や笛の音に誘われて、多くの地域の方々々が足を運びました。前日の深浦町海上花火大会と合わせて、久しぶりに町には温かなにぎわいと笑顔が戻りました。

今回の復活にあたっては、有志による実行員会と多くの町民の協力のもと、準備から運営まで行われました。当日は、太鼓や笛の音が響き渡る中、勇壮なねぶたが巡行し、沿道からは温かい拍手や声援が送られました。

このたび復活した深浦ねぶたは、地域の熱意の結晶であり、町の誇りです。そして何より、子どもたちの心に深く刻まれる、かけがえのない財産となりました。



編集後記

エルニーニョがどうか、ラニーニャがどうかとかあまり取り沙汰されなくなり、冷夏という言葉も死語となりつつある。今年も7月の平均気温が、前年を上回るなど、気温上昇に起因する報道が、後を絶たない。

この度、深浦町第三次総合計画が施行される運びとなったが、この急激な気候変動がもたらす影響は、神のみぞ知るということである。この総合計画であるが、机上の空論とならないように、計画実現に注視すべきである。かと言って、我々議員としては、あくまで持続可能を理念として、重箱の隅をつつくような、セコい提言は避けるべきである。町長が変わったからといって、我が町が財政難だということに変わりはないのだから…。

(大川清光)

題字を書いた人

ふかうら



去年に続いての掲載で、漢字よりバランスをとるのが難しかった。夏休みに転校した友達と海で泳いだことが思い出です。将来の夢は…役場に入りたい。深浦町について…自然が豊かなので残す取り組みをしてほしい

いわさき小学校6年生 岩本 莉愛さん
(岩崎書道教室)

6月4日(水)に開かれた本定例会に先立ち、5月16日御逝去された故七戸均副議長の御冥福を祈り黙祷が捧げられ、工藤博利議員による追悼演説が行われました。

そして、開会後は、新たな副議長の選出が行われました。

追悼



▲追悼の言葉を述べる平沢一臣町長



▲追悼演説を行う工藤博利議員

七戸均副議長 ご逝去

七戸均副議長が、病氣療養中のところ去る5月16日逝去されました。七戸副議長は昭和59年7月の一般選挙にて旧深浦町議会議員に初当選以来、8期24年の長きにわたり町政の発展に尽力されました。また、令和5年5月には第8代深浦町議会副議長に就任され、町民に寄り添った議会づくり・議会改革のさらなる推進を念頭に掲げ、議会運営に取り組まれました。議員としては、特に、町の活性化や少子化対策について、強く提言され、幾度となく町政に資していました。そのほか、予算・決算特別委員会においては、鋭い質疑で町政へ迫り、活発な議論を展開されました。



副議長就任のあいさつ



副議長 今 勝 吉

本定例会で指名推薦により副議長に今勝吉議員が選出されました。

先般、5月16日に七戸副議長が逝去されたことにより、第139回定例会において、議員各位の厚いご推挙を賜り、第9代副議長という大任を拝し、身に余る光栄でございます。前副議長の志を僅かでも引継ぎ、なお一層、鋭意努力してまいりる所存でありますので、今後とも町民の皆様のおかげで指導とご協力を心よりお願い申し上げます。就任のご挨拶いたします。

ふかうら 議会だより

No.82

6 2025年
月定例会

今号は
ダブル
表紙!



地域の誇りを次世代へ 深浦ねぶた運行復活